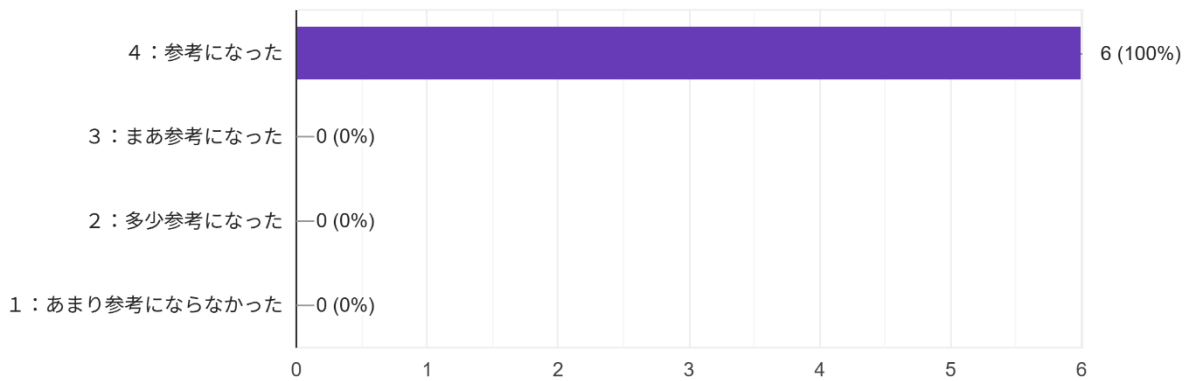


【講座 A】

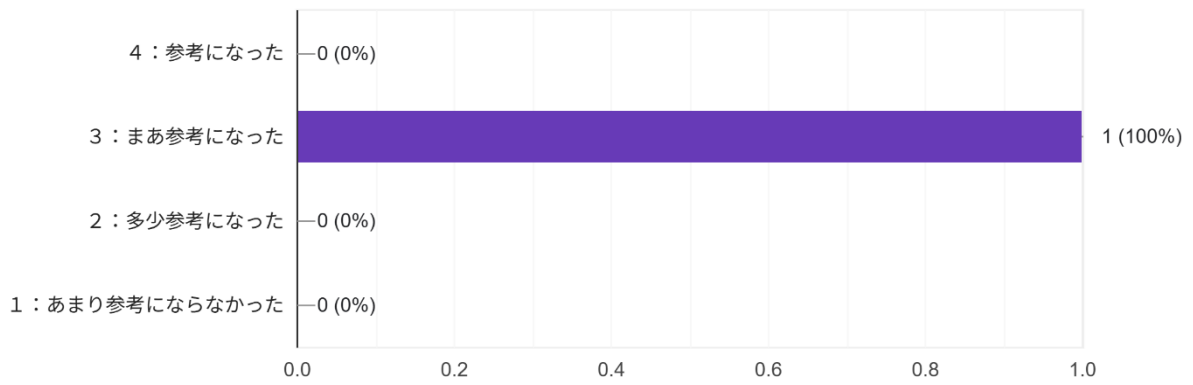
講座A 「外国語習得に繋がる古典学習～英語を使って古文・漢文の学習を深めてみよう！～」

6 件の回答



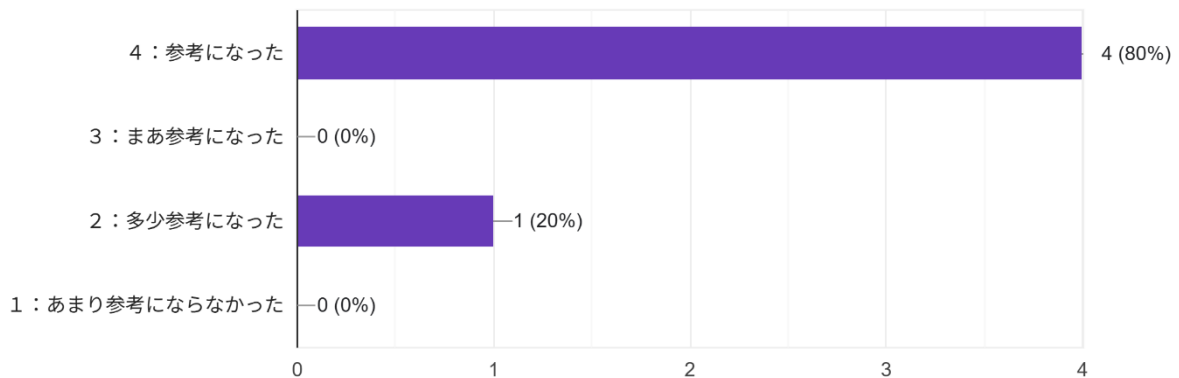
- 英語の文法や時制から古文の助動詞を考えるとという内容。その他にも、分かりづらい、難しいなど、比較的生徒から嫌がられる古典分野をどのようにアプローチするかというお話を聞けて大変参考になりました。

講座B『『論理国語』指導における、コミュニケーションスキルを援用した発問と言語活動の実際』
1件の回答



講座C「国語×英語 ～羅生門／百人一首～」

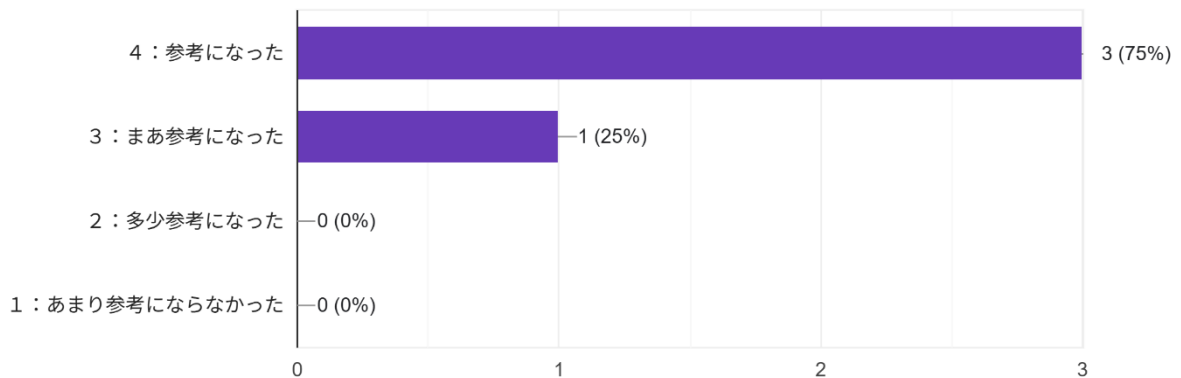
5件の回答



- 実践内容はもちろんですが、資料もボリュームがあり、大変勉強になりました。マナブペイで紹介されている資料についても活用させていただきたいと思います。
- 木札の百人一首が北海道独自ということで、授業に取り入れていたのですが、いまひとつしっくりきていませんでした。英訳によって生徒が古文と主体的に向き合えるよう準備が練られていると坎じます。
- 国語科の教員となり、2年目になります。生徒には基礎を身につけてもらおうと、目の前の授業で精一杯の日々を過ごしていました。しかし、本日の講座をお聞きし、生徒が自ら考えて意欲的に取り組み、楽しみ、気づいたら知識技能、思考力が身に付いているという構図、これが本来目指すべき授業のあり方であると気づくことができました。そして、生徒が我々の想定を超える答えをいかに引き出す授業をセッティングすること。これは理想だと考えています。それをするためには、我々の想定する目標だけでなく、知識の基盤が大きくしっかりしたものである必要があります。そこに向ける情熱と意欲、そして先生のお人柄や努力によって成り立つ授業であったと感じました。本日はありがとうございます。私も頑張りたいと思います。
- 貴重なお話をありがとうございました。ここまでの教科横断型の授業づくりはとても受けていて新鮮で、且つ自分でも作ってみたいと思えました。本校ではあのような授業はまだ行えておらず、基礎学力の定着に時間がかかっている現状であります。生徒も楽しめるのと同時に、さまざまな先生方の表現力も見れてとても楽しかったです。

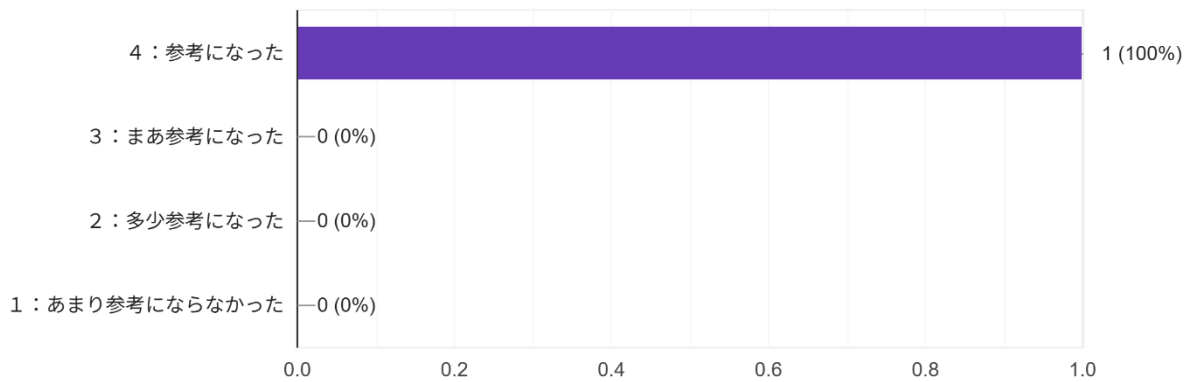
講座D「授業構築のインストラクショナルデザイン」

4件の回答

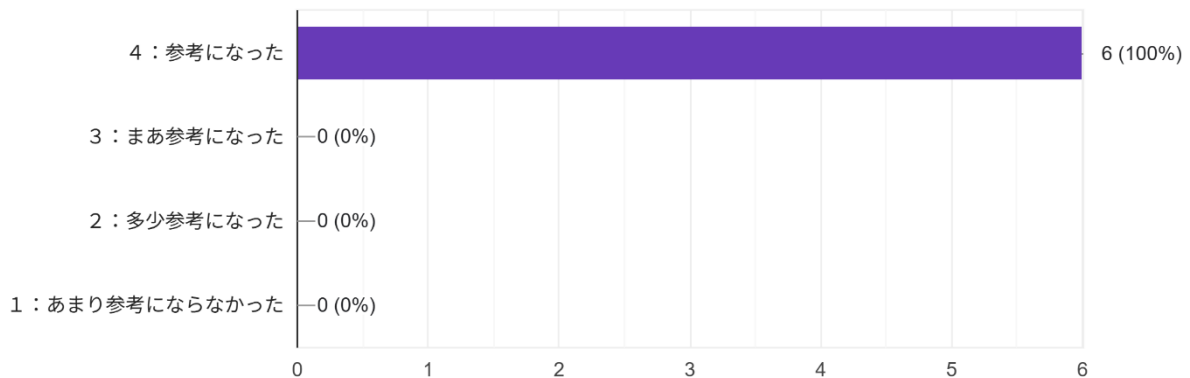


- 授業で生徒に身に付けさせたい資質能力からはじめ、それを生徒に学ばせることができる方略を組み合わせしていく。こうやって授業を設計していけば、日常の授業が自動的に意図的なものになっていくなあと思ってお話を聞かせてもらいました。とても参考になる内容でした。ありがとうございました。
- 授業の目的、生徒に身につけさせたい力を根幹にどうすべきかどうあるべきかについてご自身の実践を踏まえてお話しくださったのが印象的でした。大変勉強になりました、ありがとうございます。

講座E『『現代の国語』【書くこと】の授業開き単...の実態に合わせてカスタマイズして作成しよう!』
1件の回答



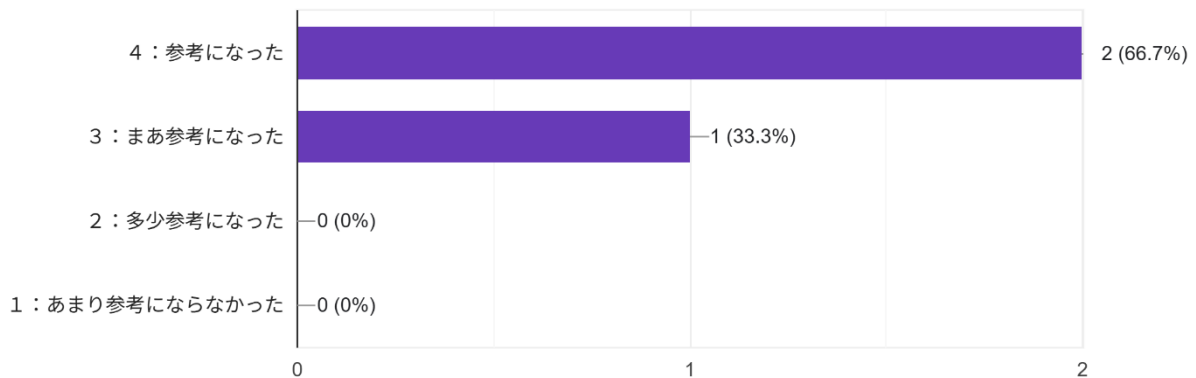
講座F「命を救う『ことば』を育む国語教室～「...い日本語」への書き換え活動で育む言語能力～」
6件の回答



- 「F」昨年度まで、小規模校に勤務しており、国語教員1人の環境だったので、共感できることが多かったのと同時に、その環境でも生徒の実態に合わせて、町と連携し、授業内容を工夫されていることが素晴らしいと感じました。また、「やさしい言葉」で書くことは、誰にでも分かりやすい文章を書くために、身につける必要があると再認識しました。
- 語彙力の増強等の観点から行われる「やさしい日本語の書き換え」について、高い効果を得られていることがよくわかり大変参考になりました。地域協働の観点から見ても大変素晴らしい成果を得ていたと思います。
- 最近やさしい日本語ニュースをカーラジオで聴くことがあり、外国人労働者の問題とあいまって生徒に何かを伝えたいと思っていたところでした。柳沼先生の経験をもとに練られた素敵な授業だと思います。国語が苦手な生徒にどう活躍の場を提供するかに対する一つの答えを提示してくださったと思います。
- とても素晴らしい経験をさせて頂きました。今後の授業でも活かせるお話が多くあり、色々な先生方のご意見も聞けた貴重な時間でした。私立では異動もなく、色々な学校で経験をされた先生方の話は勉強になりました。漫画やコントも教材として活かすという面白さに興味が湧きました。また過去の教材も拝見させていただきます。書くことは本校でも課題としています。読むことがまずできない生徒も多いです。この講義でいただいた知識を今後持ち帰らせていただければと思います。本日はありがとうございました。
- 授業の目的、生徒に身につけさせたい力を根幹にどうすべきかどうあるべきかについてご自身の実践を踏まえてお話しくださったのが印象的でした。大変勉強になりました、ありがとうございます。

講座G「国語を俯瞰する ～検索システムの構築～」

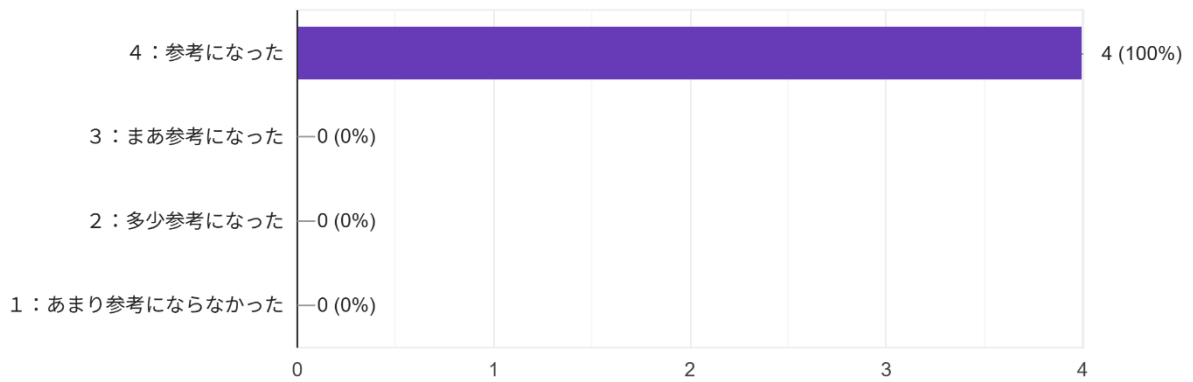
3件の回答



- データ検索は、面白いです。教科書の種類を増やし、大学入試の過去問をどこの大学でも検索できるようになると、生徒が傾向を読み取って、興味関心を広げられると思いました。
- 单元ごとのデータベースの作成と検索システムの構築による「学びの宇宙」の可視化・具体化は、その本質を自分が理解するまで少し時間がかかりましたが、理解できればとても面白く、意欲的な試みであると感じました。
- とても参考になる取り組みばかりでした。取り入れられるところはどんどん参考にさせていただきます。ありがとうございました。

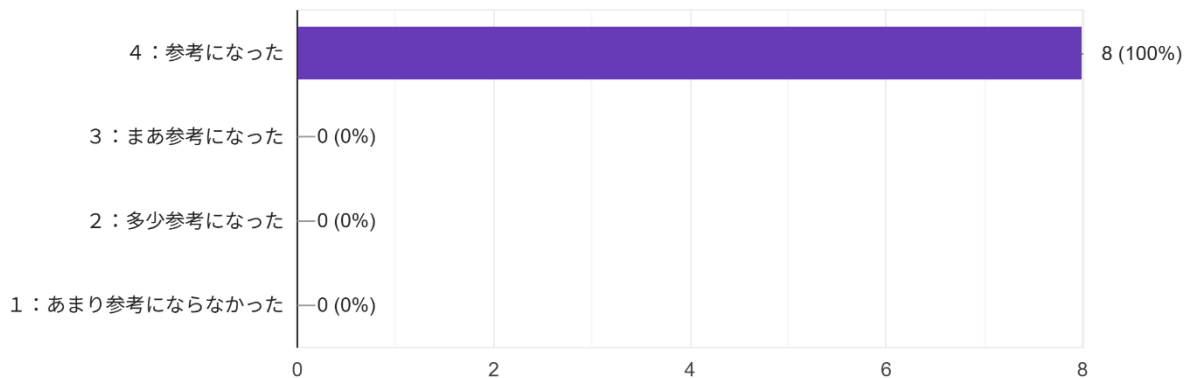
講座H「文学の指導をより充実するために ～現代短歌と言語活動をつかってみよう！！～」

4件の回答



講座Ⅰ「次期学習指導要領を見据えた国語科で育成を目指す資質・能力」

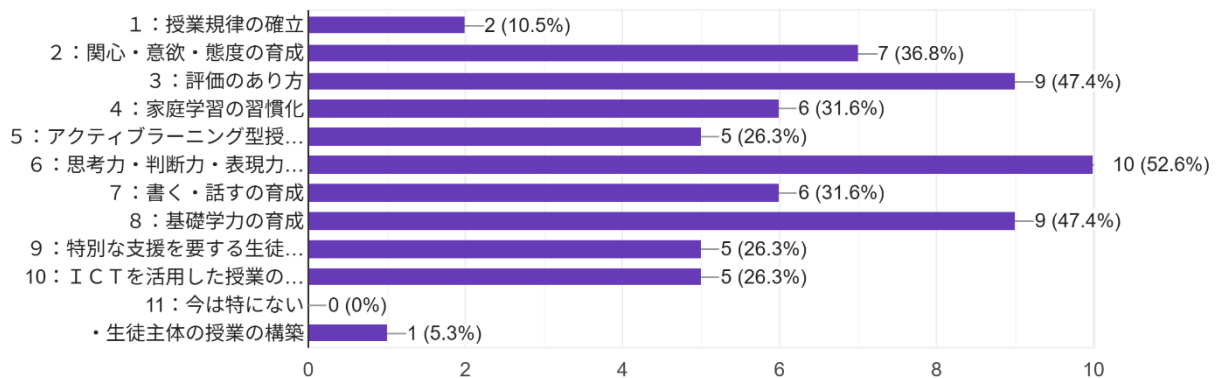
8件の回答



- 資料をいただき、改めて学習指導要領を見直そうと思いました。また、実際に演習をしながら進めてくださったので、情報交換ができました。
- 学習指導要領の狙いがわかって、授業で活用できると思いました。
- 基礎的な部分を見直し、何のために国語科があるのか考えることができました。何度も交流をすることにより、私が今抱えている不安を解消することが出来ました。このような知識を改めて入れ直し、考え直すことにより、方向性を定めることが出来ます。つい日々の業務に圧倒され、忘れてしまいがちではありますが、本日の交流等で繋いでいただいた横との繋がりを大切にしていきたいと思います。
- 国語科の役割とはなにか、教育とは何か、幸福になる道を自ら選択していくことであると考えます。指導要領に沿い、実現できるような教育を日々考えていきたいです。
- 次の学習指導要領に向けての考え方や、現在の学習指導要領についての縦と横の関係性について理解を深めることができました。意識しようとは常日頃考えてはいるのですが、どうしても教材ありきの授業になりがちだったので、まず本質的な問いを立ててから領域や単元を考える方法を意識的にとりたいと改めて考えさせられました。

あなたの授業での課題は何ですか。あてはまるものを選択してください。（複数回答可）

19 件の回答



自由記述アンケート結果まとめ

「あなたの本研究会セミナーへの参加の目的は何ですか。」

① 授業力・指導力向上（最多）

- ・ 教科指導力の向上のため
- ・ 授業改善のヒントを得るため
- ・ 授業の質の向上のため
- ・ 自身のスキルアップのため

➡ 授業改善や指導力向上を目的とした回答が圧倒的多数

② 他校教員との交流・情報交換

- ・ 他校の国語の先生方との情報交換
- ・ 国語科教育に意欲的な先生方と話したい
- ・ 交流の時間が多く、いろんな先生の話を知りたい

➡ 交流・ネットワークづくりを求める声が複数

③ 勤務校の状況によるニーズ（少人数教科・孤立感の解消など）

- ・ 本校には国語科教員が一人のため、他校の実践を吸収し生徒に還元するため
- ・ 勤務校の国語科教員が私ともう 1 人しかいないため、見識を広げるため

➡ 孤立環境での情報補充・実践獲得ニーズ

④ 授業への還元・実践的収穫を求める声

- ・ 何かしらの収穫を得て夏季休業明けの授業に生かしたい
- ・ 諸先輩の実践から学ぶため

➡ 具体的に“授業へ活かす”という実務的目的

「今後、本研究会セミナーで開催してほしい講座内容」

① 評価・添削指導に関する講座

- 評価の仕方
- ポイントを絞った添削指導

➡ 評価方法や添削の実務に関するニーズ

② カリキュラム・授業設計に関する講座

- 新学習指導要領での授業カリキュラムの検討
- 効果的な学習の時間配分の方法

➡ 学習指導要領対応や授業構成の工夫に関する要望

③ 文学的文章の読み方指導

- 文学的文章の基本的な読み方を主体的に養成するには

➡ 読みの基本スキル育成に焦点を当てた講座の希望

④ 個別最適な学び・学力差対応

- 個別最適な学びの在り方
- 様々な学力層が混在する場合の指導方法

➡ 学力差や個別最適化への対応を学びたいという要望

⑤ 古典分野の講座

- 古典分野についての講座があればよい

➡ 古典指導の強化ニーズ

⑥ ICT 活用（初心者～上級者向けまで）

- ICT 活用講座（レベル別：初心者向け～活用者向け）
- 活用者向けは一斉指導より「教え合いスタイル」を希望

➡ 段階別・参加型の ICT 研修への強い関心

「本研究会セミナーへの参加者を増やすためのアイデア」

① 新採教員・初任者層への周知・ターゲティング

- 初任者層や困り感を抱えやすい先生をターゲットに、実用的な講座を増やす
- 事前にターゲット層から困り感をヒアリングするとニーズに合った講座が作れる

➡ 若手教員・初任者向けニーズに応えることで参加促進

② 学校管理・運営上の配慮

- 出張旅費の確保
- セミナー当日の部活動免除
- 特に教員一人の学校では必修化も検討
- 初任研より本セミナーに時間を充てる方が有益

➡ 管理職や学校側のサポート・制度的配慮の重要性

③ 日程・競合イベントへの配慮

- 部活動全道大会などで参加できない場合がある
- 日程調整は難しいが、SNS や口コミで情報を広める

➡ 物理的制約への対応策として広報戦略を提案

④ SNS・デジタル活用

- Instagram 等で授業の小ワザを定期発信
- 会員から情報を募る、運営委員が輪番で情報提供
- 高教研・高国研との連携で相互に広報し、参加者増加を図る

➡ デジタル広報・情報発信による認知度向上

⑤ 口コミ・紹介・動画活用

- 参加者の口コミ
- セミナー動画紹介

➡ 参加経験者の発信を活用して新規参加者を呼び込む

「当日の運営等についての気づき・意見」

① 特に問題なし・感謝

- 特に問題ありませんでした。非常にスムーズに進行していた
- お忙しい中ご準備ありがとうございました
- 大変よかったです。ありがとうございました

➡ 運営に対して概ね満足・感謝の声が多い

② 改善点・注意点

- オンライン講座ではイヤフォンを用意すべきだった

➡ オンライン参加時の事前準備に関する指摘

「その他、本研究会に対するご意見・ご要望」

① 感謝・学びへの満足

- また次年度以降も参加させていただき修練に励みたいと思います。ありがとうございました
- 毎年ステキな学びの場を提供くださりありがとうございます
- 全国大会の際に運営のお手伝いで関わった以降、なかなか都合がつかず夏のセミナーには今回はじめて参加。フレンドリーな雰囲気で課題を共有できる貴重な機会だと思う。また参加したい

➡ 参加者の満足度・感謝の声が圧倒的多数

➡ フレンドリーで共有しやすい雰囲気が好評

② 特に意見なし

- 特にありません（2件）

➡ 特段の改善要望はなし

③ 要望・改善点

- 講座資料を PDF で電子配布してほしい
 - 持ち帰って読み直す
 - 参加していない教員とも共有しやすくなる

➡ 資料の電子化・再利用の利便性向上が望まれる